

会員の広場



朝顔が、1385輪も咲きました

小長井 孝（東京）

今年の夏は、本当に暑かった。現代漢和辞典を紐とくと、暑さについて猛暑、酷暑、極暑、炎暑、大暑、処暑（二十四気・秋、立秋の次）、……、さまざまな表現があった。

史上空前の暑さで、全国の経済倶楽部会員の皆様、さぞ大変だったのではないでしょう

か。

夏といえば、昔から朝顔は夏の風物詩の一つ。東京では浅草の朝顔市がよく知られている。我家でも毎年朝顔の種を縁台に置いたプランターに蒔き、ガラス戸の上まで張ったネットにつるを這わせて緑の壁（緑のカーテン）を作り、一服の涼としてきた。暑さが増すに連れ、朝顔は競い合うようにたくさん咲き、
“がんばっている”様子を見るたびにささやかなうれしさを感じた。

我家の朝顔は、今は中学3年と小学5年になる孫達からのプレゼント。小学校低学年のとき学校で育てて取れた種が当方にお裾分けされた。孫からの依頼（来年蒔いてね）につき、無条件に応諾。それ以来毎年、蒔いては

たくさん咲かせ種をとり翌年また蒔く、の繰り返しで5年が過ぎた。今年は種を蒔くのが、かなり遅かったのできちんと咲いてくれるかどうか不安だった。幸いにも、2ヵ月後の8月1日に大輪が1輪咲きほっとした。何とはなく、どのくらい咲くか数えて記録を取ることにした。毎朝開花数を確認、水遣りを欠かさずたまに液肥をやるなど、あまり関心が無い割には珍しいほど、まじめに面倒を見ながら観察をした。やがて開花総数はなんと2ヵ月で総数1385輪。久しぶりに行った“自由研究”だ。

朝顔のつるは左巻き、例外はないらしい。

緑のカーテンを形成する庭の20本の朝顔も全部左巻き。紐や細い棒を添えることで、つ

るはそれに巻きつきながら上へ上へと一日7、8cmも成長した。支えがないとひよるひよると伸び、巻くことがない、不思議だ。その能力は遺伝子に書き込まれているようだ。左巻きといえは、台風も同じ（どちらも上から見定しているネジも“左巻き”（右回転のファンが外れないよう逆ネジに）。

植物学では、和名はアサガオ・属名はサツマイモ属、朝顔はサツマイモの仲間だ！サツマイモのつるに支柱を添えたら、つるは巻きながら上へ伸びてゆくかも？ 機会があったら試してみたい。コロナの災禍に振り回されながらも、朝顔のおかげかな、猛暑に負けず秋を迎えることができた。